



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



当病院前の桜

### 第52号 目次

新任挨拶	1
院長 / 看護部長	
特集 一医師が語る疾患一	2
第11回 子宮がん	
産婦人科医長 鈴木 理絵	
行事紹介	
第51回生 卒業式	3
第54回生 入学式	4
連載	
職員リレー紹介 第10回 泌尿器科	5
地域医療連携	6
外来担当医表 / 編集後記	7



発行 月：平成28年4月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構  
 横浜医療センター 広報委員会  
 発行責任者：平原 史樹  
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電 話：045-851-2621  
 FAX : 045-851-3902  
 URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



●当院携帯サイトはこちらから

# 新任挨拶

## 就任のごあいさつ

院長 平原 史樹



工藤一大前病院長の後を引き継ぎ2016年4月1日より伝統ある本院の病院長に就任させていただくことになりました平原史樹(ひらはらふみき)です。なにとぞ皆様にはご支援、またご協力をよろしくお願い申し上げます。

簡単に自己紹介をしますと1977年横浜市立大学を卒業、国立医療センター(現在の国立国際医療研究センター)での研修もふくめて産科、小児科、麻酔科等で初期研修後横浜市大産婦人科に所属、途中、教育指導関連病院出張、米国留学をへて1998年から横浜市大産婦人科教授、2012年から横浜市大附属病院長、大学法人理事を務めておりました。ちなみに見た目では違和感を感じるとは思いますが工藤前院長よりは若干、年齢は下です。

さて国立横浜病院の時代から当院は横浜西の砦の基幹中核病院でした。地域の方々からなにかと頼りにされ、高度な医療も受けられる厚い信頼の中にこの病院は存在しています。これまで本院で診療、業務に従事してこられた素晴らしい先輩方、また現在各部署で中堅、リーダー層となって病院をけん引しておられるスタッフのみ

な様の絶え間ない努力で本院はその大きな期待に応えながら使命を果たしております。関係各位のこれまでのご尽力、また現在の前向きな姿勢に深甚の敬意を表します。

これからは高齢者が一気に増えていく時代であり、高度な医療を安心、安全の中でも快適に癒しを添えながらお届けしなくてはなりません。これらの新たな時代へむけた診療環境を整えるためにはまずは病院が経営的にもこれまでの素晴らしい業績を引き継ぎ、またいまよりさらに上をめざし、その整備をすることが大切に思います。医療の質のなご一層の向上を目指して病院のスタッフのみな様には様々なお願いをしてみたいと思いますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

地域の患者さん、市民はもとより、地域の医師会、医療施設、介護、福祉施設、行政機関、教育施設、交通機関等々と緊密な連携を取ながら国立病院機構の基幹中核病院としてその役割を果たすことに微力ながら邁進してまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

## 就任のごあいさつ

看護部長 江原 くるみ



4月1日付で水戸医療センターから配置換えで参りました看護部長の江原くるみです。宜しくお願ひ致します。

横浜医療センターは様々な最新機能を持ち、築6年とまだ新しさを感じる病院です。横浜市と近隣各市を結ぶ交通の要所として交通も便利な立地です。横浜市南西部地域中核病院として、急性期医療を積極的に実践している現状を実感し、全職員の努力の賜であると感じています。

2025年問題を目前にして医療は病院から地域・在宅へと移行を求められています。この状況

に適応していくために、入院調整センター、退院調整担当部門を立ち上げました。看護部運営にも多くの課題はありますが職員協働で解決できると考えています。私も看護部長として看護部の理念『わたくしたちは、常に「患者中心」を念頭において温かい笑顔で心のこもった看護を提供します』を胸に、横浜医療センターが地域の方々からさらに頼りにされ、愛される病院になるよう努力したいと思ひます。

# 特集－医師が語る疾患－

## 第11回 子宮がん

産婦人科医長 鈴木 理絵



子宮がんにかかる人は、年間約21,000人で、内訳は子宮頸がんが約10,000人、子宮体がんが約11,000人となっています。また、子宮がんで亡くなる方は、年間約6,100人で、子宮頸がんが約2,700人、子宮体がんが約2,000人となっています。

子宮がんは発症部位から子宮頸がんと子宮体がんに分けられます。子宮体がんは胎児を育てる子宮の内側にできるがんです。一方、子宮の出入り口にあたる子宮頸部から発生したがんが、子宮頸がんです。同じ子宮のがんであっても、子宮体がんと子宮頸がんは、診断も治療法も異なるので、子宮体がんと子宮頸がんの違いを正しく理解することが大切です。

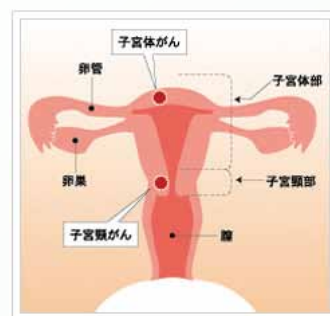
子宮体がんは、肥満、閉経が遅い、出産経験がないなどの場合に発症のリスクが高くなることがわかっています。女性ホルモン(エストロゲン)が関わっていることも多いです。また、がん関連遺伝子の異常に伴って発生するものもあります。40歳代から多くなり、50歳から60歳代の閉経前後で最も多くなっています。一番多い自覚症状は不正性器出血です。閉経後あるいは更年期での不正性器出血がある時には特に注意が必要です。近年は食生活の欧米化などに伴い増加しているといわれています。子宮体がんとわかったら、病理検査、内診、超音波、CT、MRIなどで、進行期を推定し、基本的には手術を施行し、摘出した標本の病理検査で、がんの種類と広がり調べて、最終的な進行度を決定します。術後に抗癌剤などの追加の治療が必要になることもあります。

子宮頸がんは、20歳代後半から40歳前後までの罹患率が高いです。近年、罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向にあります。がんがわかってから術前の診断の流れは、子宮体がんとはほぼ同様です。治療方法は、手術のほかに放射線になることもあります。また、子宮頸癌の発生

には性行為によって感染するヒトパピローマウイルス (HPV) が関与していることが明らかとなっています。近年、性交開始年齢の若年化に伴い、若い女性の罹患が増加していると考えられています。予防のために、一部の型のHPV感染を予防できるワクチンが使用可能になっています。たとえ、ワクチン接種を受けた場合であっても、定期的に子宮頸がん検診を受けることが大切です。子宮頸がん検診は非常に有効で、進行がんを防ぎ死亡を減らす効果が証明されています。

医学がどんなに進歩しても、いまだに子宮体がん・子宮頸がんを克服するには早期発見・早期治療が重要なのは変わりありません。心配な症状があれば、婦人科での診察を躊躇することなく受けることが大切です。

当院では、子宮がんの治療に積極的に取り組んでいます。近所のクリニックや検診センターで定期的な検診を受けて異常を認めた場合や、不正性器出血で悪性が疑われた場合には、速やかな受診をお待ちしています。



(日本対がん協会HPより)

参考資料：

日本婦人科腫瘍学会編 「患者さんとご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドラインの解説」、金原出版株式会社、2010年  
国立がん研究センターがん情報サービス

<http://ganjoho.jp>

日本対がん協会

[http://www.jcancer.jp/about\\_cancer\\_and\\_checkup/](http://www.jcancer.jp/about_cancer_and_checkup/)

日本産科婦人科学会

<http://www.jsog.or.jp/public/knowledge/index.html>

日本婦人科腫瘍学会

<http://jsog.or.jp/public/index.html>

# 行 事 紹 介

## 第 51 回 生 卒 業 式

教員 團 たまみ

平成28年3月4日、春のあたたかな日差しに包まれ、第51回生78名が、無事に卒業し、巣立っていきました。

卒業式での学生の姿は、入学したばかりの3年前とは違い、さまざまな事を学習し、成長した凛々しい姿でした。また、表情は、実習のこと、友達と語り合ったこと、国家試験の勉強で頑張ったこと等の思い出を、噛み締めているように見えました。そして、ご来賓の皆様からの温かい励ましの言葉を頂き、これから看護師としての第一歩を踏み出すことに、希望を抱きつつ、改めて身の引き締まる思いを感じた様子でした。

卒業生のみなさん、これからは社会人として、専門職業人として多くのことを学び、看護の楽しみや喜びを感じたり、時にはつらい思いや悲しい経験をするかもしれません。看護師という仕事に責任を持ち、患者さんへ質の高い医療や懇切丁寧な看護が提供できるように日々自己研鑽し、努力し続けてほしいと思います。一人で悩まず、看護学校で苦楽を共にした仲間や、周りの支えてくれる人へ思いを共有し解決の糸口を自ら探してください。これまで多くの方々にご指導・ご協力いただいたことに感謝し、しっかり前を向いて歩んでほしいと思います。

看護ではまだまだ未熟な新人看護師51回生ですが、皆様どうぞ温かく見守り、成長の手助けをしていただけたらと思っております。



# 行事紹介

## 第54回生 入学式

教員 奥田 映里子



前日までの春雨もやみ、見事に晴れた気持ちの良い陽射しの中、平成28年4月6日に第54回横浜看護学校入学式が行われました。

式典に臨むにあたって、入学生は緊張した表情をしていましたが、新入生認証で一人ひとり呼名されると、しっかりと前を向いて、大きな声で返事をしていました。その声や眼差しからは、看護師になろうとする決意が感じられました。

今年度、新入生90名を迎え、横浜看護学校の学生は、総勢247名になりました。新入生は入学後、看護学生としての専門的な知識や技術など、様々なことを学んでいきます。そして、看護学校の先輩たちや患者さん、実習指導者などたくさんの人々との出会いを通して、喜びや感動を味わいながら、一步一步看護師に近づいていきます。時には、辛い状況に直面することもあると思います。戸惑うことも多くあるでしょう。しかし、看護師になるという夢の実現に向けて、入学した仲間たちと一緒に乗り越え、成長して行ってほしいと思います。それぞれの学生が、一人の人間としても成長できるよう、学校職員一同が一丸となってサポートしていきます。どうぞ皆様も第54回生を今後も温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



## 第10回 泌尿器科

泌尿器科 部長 平井 耕太郎



この度1月に赴任しました泌尿器科の平井耕太郎と申します。 趣味は木工、禁酒、関節・絞め技研究です。

同時に柳澤昌宏、浅井拓雄、森亘平の4人体制での赴任となりました。

これまでは国立がんセンターでは研究を、神奈川県立がんセンター、静岡こども医療センター、藤沢市民病院、横浜市大病院などで臨床に従事した後、9年間の前院（NHO相模原病院）での勤務の後の異動となりました。

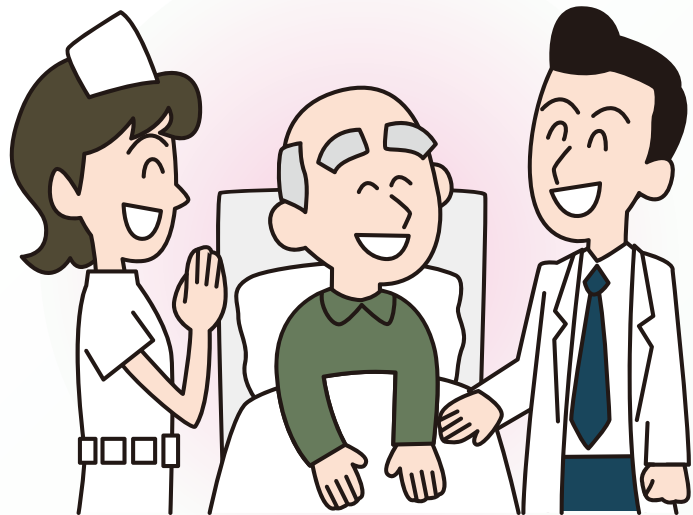
尿路の悪性腫瘍治療、特に腹腔鏡手術に重点を置き、自分以外にもようやく腹腔鏡手術認定医師を出せるようになってまいりました。 前勤務地では派遣医師の増加もありようやく尿路結石症にも力を注ぎ、充実化を図っているところでした。

当院手術室はスタッフの人数・質・教育体制のみならず高出力レーザー・腹腔鏡用機器など器械設備も非常に整っており、すべて使いこなすにはもう少しですが前スタッフ同様に①尿路悪性腫瘍、②尿路結石症、③前立腺肥大症を中心に腹腔鏡や内視鏡を用いた低侵襲手術を適応に応じて提供してまいる所存です。 勿論、様々な排尿障害・感染症・EDについても対応してまいります。

泌尿器スタッフ数もこれまでの3人から4人とさせていただきましたが、外来患者様も多くご存知のように高齢化の影響を受けて年々泌尿器科的な問題を抱える方が増加している傾向もあり、待ち時間が長く紹介患者様もお待たせしている現状があり心苦しく思っています。 外来ブース割り当ても少ないこともあり、赴任して早々ですが手を加える必要性を感じております。

がん診療拠点病院としての責務を果たすため、手術療法のみでなく、化学療法・緩和療法ともに充実を図るために院内の協力体制のみでなく、近隣の先生方のお力もお借りし強固な地域連携による協力体制を作り皆さまにご不便の無いよう調整をすすめてまいりたく存じます。

またこちらでも微力ながら、前の施設では対応しておりました停留精巢、捻転症など小児領域にも貢献できればと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。



# 病診連携施設紹介

## 医療法人社団鳳凰会 いえまさ脳神経外科クリニック

診療科目：内科、脳神経外科

院長 張 家正

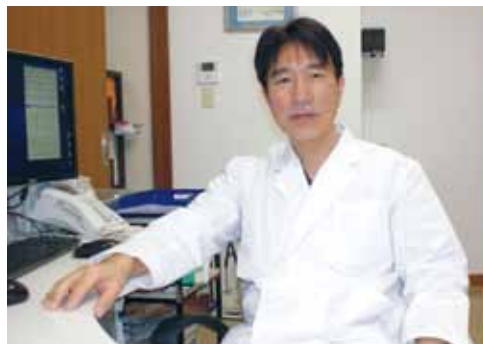
平成23年1月17日、55歳を迎える年にJR戸塚駅西口より徒歩3分のところに脳神経外科クリニックを開院し、今年の1月に開院5周年になりました。この5年間、少しでも地域の皆様にお役に立てることができたかは、悩ましいところではありますが、日頃の診療内容を少しご紹介させていただきます。

じきに還暦を迎える身で膨大な借金をするのは、「破滅的だ」と冗談交じりに言われました。しかし、自分の好きなやり方で、少しでも質の良い医療を提供するために、私のモットーは「金に糸目はつけない」（もちろんクリニックがつぶれない程度ですが）。MRは高価なシーメンス社製1.5Tの最新鋭MR（神奈川県第1号）を、CTは日立製の16列CTを入れました。スタッフは、放射線技師1名、看護師2名、臨床検査技師1名、事務スタッフ5名の計10人で日常診療をこなしております。

初診でMR検査を行い、当日結果がわかるようにする。頭痛、めまい、しびれ、頭部外傷や物忘れなどで受診される方が主ですが、脳梗塞、クモ膜下出血や脳出血、脳腫瘍など入院治療が必要な方も、数多くいらっしゃいます。かかりつけの患者さんが急に悪くなった時の対応に、救急車による搬送も受け入れております。緊急入院が必要な場合は、いつも横浜医療センターに搬送させていただいております。少しでも「地域に頼れる、敷居の低い診療所」であることを目指しています。1日の受診患者数は50-60人ほどで、決して多くはないのですが、認知症の患者さんが多く受診されるため診察時間が長引き、お昼の休憩も取れない日が多いです（もちろんスタッフは交代で休ませています）。このため、昨年11月から木曜日午後の診療も始めました。

開院したら手術はリタイアだと思っていましたが、今も連携病院のオープンシステムを利用して手術を続けています。特発性正常圧水頭症iNPHという疾患をご存知ですか？このiNPHの手術を続けているのです。認知症462万人と言われる昨今において、iNPH診療は重要性を増しており、学会やマスコミによる啓蒙活動がさかんです。「手術で治る認知症」として有名で、2013年には少なくとも35万人が罹患していると言われます。「歩行障害を主体として認知障害、排尿障害をきたす、脳脊髄液吸収障害に起因した病態であり、高齢者に多くみられ、緩徐に進行する。シャント術によって症状の改善を得る可能性がある症候群である。」と説明されています。「年のせいだ」と決めつけられることが多く、アルツハイマー病やパーキンソン病などの鑑別が難しい。治療法はシンプルで、余分に溜まった脳脊髄液が脳を圧迫することで症状が出現しているので、この脳脊髄液を排除すればよいのです。脳を傷つけずに治療する方法として、私はもっぱら腰部くも膜下腔-腹腔シャント術（LPシャント）を行っています。

地域医療のためには病診連携や診診連携は重要なネットワークを構成しています。今後も皆様と手を取り合っ、地域住民の健康に尽くして参りたいと存じます。



### いえまさ脳神経外科クリニック

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町5056番地4 アスクレピオス戸塚2F

TEL : 045-869-0881 FAX : 045-869-0882

ホームページ : <http://iyemasa-cl.jp>

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~13:00	○	○	○	※	○	▲	
14:00~18:30	○	○	○	○	○		

※木曜午前は手術のため休診 ▲土曜午前は9:00~13:00

休診日：日曜、祝日

	診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 二村 真亨 交代医師	福山 綾子 鈴木 健 松本 峰	小林 慈典 齋藤 祐 大場 美央	鈴木 陽一 矢竹 曜子 今野 裕章	塩谷 裕美 宮沢 啓貴 五十嵐 梨紗	
	心臓血管外科 形成外科	益子原 幸宏	村下 一晃 休診日(手術日)	休診日(手術日)	村下 一晃 休診日(手術日)	村下 一晃 休診日(手術日)	
	整形外科	瀧上 秀威 小林 明裕 川村 正樹	日塔 寛昇 伊藤 りえ	伊藤 りえ 日野 勝利	日塔 寛昇 佐藤 雅経 渡部 慎太郎	日塔 寛昇 小林 明裕 渡部 慎太郎	
		交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	☆:予約患者のみ
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	☆:午後の予約のみ
	糖尿病内分泌内科	重松 絵理奈 小松 裕美子	重松 絵理奈	●宇治原 誠 上木 英人	原 洋史 ●宇治原 誠 川端 謙一	小松 裕美子	●午前の予約のみ
	神経内科	中澤 謙介	小林 絵礼奈 高橋 寛哉	高橋 寛哉(初診)	高橋 寛哉(初診)	小島 麻里	初診には紹介状が必要
	腎臓内科	松下 啓 後藤 秀人 後藤 秀人 後藤 秀人	中野 雅友樹 後藤 秀人 後藤 秀人	廣田 寛悟 池田 秀平 ●田中 森子	松下 啓 休診日(検査日)	休診日 増本 菜美	
	呼吸器内科	後藤 秀人 後藤 秀人 後藤 秀人	後藤 秀人 後藤 秀人 後藤 秀人	●田中 森子	休診日(検査日)	増本 菜美	
	消化器内科	交代医師(初診)	交代医師(初診)	小松 達司(初診)	松島 昭三(初診)	交代医師(初診)	
	循環器内科	森 文章 網代 洋一	岩出 和徳 網代 洋一(午前)	溝淵 景子	野登 はるか 長谷川 瞬	小松 達司 松島 昭三 岩出 和徳	
		初診:岩出 和徳	初診:森 文章	初診:岩出 和徳	初診:岩出 和徳	初診:森 文章	
	リウマチ科	井畑 淳 井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳	※火曜日・水曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	外科・消化器外科	清水 哲也 渡部 順 久保 博一	関戸 仁 松田 悟郎 松田 悟郎	松田 悟郎 山本 悠史 坂本 里紗	関戸 仁 松田 悟郎 清水 哲也	休診日(手術日)	※乳腺外科の初診には紹介状が必要 地域連携室を通して完全予約制
		呼吸器外科	五来 厚生	交代医師①	交代医師②	渡部 克也	渡部 克也
	脳神経外科	休診日(手術日)	手術日	◇脳ドック	休診日(手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫	①:第1・3・5週 関田 富、第2・4週 菅原 宏輔 ②:第1・3・5週 瓜生 康祐、第2・4週 谷野 慎 ◇:脳ドックの詳細はPM2:00～5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。 初診には紹介状が必要
緩和ケア科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一		小川 賢一	小川 賢一	初診には紹介状が必要	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○交代医師 手術日	○:予約外の診察には紹介状が必要
	眼科	木村 正彦 内匠 秀尚	養 桂子 内匠 秀尚	養 桂子	木村 正彦 養 桂子	休診日(手術日)	初診には紹介状が必要 火曜日は新患のみ診察
	泌尿器科	高野 哲三 森 亘平	平井 耕太郎 柳澤 昌宏	休診日(手術日)	平井 耕太郎 柳澤 昌宏	高野 哲三 森 亘平	・皮膚科の初診は紹介状が必要。 ・水曜日は予約患者のみ診察。 ・水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。
	皮膚科	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	手術日	上田 喬士	上田 喬士	※月～金:初診の方は9時30分まで受付を済ませてください。(振替紹介、1日1名の予約制) 初診は在室の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
外来受付 D	心療内科	心理検査 小川 由佳	心理検査 大橋 茉莉子 永露 毅	心理検査 古野 拓	心理検査 木谷 卓矢	心理検査 土屋 美江 山本 博	初診には紹介状が必要
	婦人科	若林 玲南 永井 康一	奥田 美加 高山 智子	窪田 興志	栗杉 輝彦	鈴木 理絵 向田 一憲	地域連携室を通して完全予約制
	産科	妊婦健診(交代医師)	妊婦健診(交代医師)	妊婦健診(交代医師)	妊婦健診(交代医師)	妊婦健診(交代医師)	初診:火・木曜日 8:30～11:00。要紹介状/診療情報提供書 初診:産科 産科外来から連絡の上、随時受付。要紹介状/診療情報提供書 再診:産科 産科外来から電話連絡して下さい。
	歯科口腔外科	根岸 明秀 (再診のみ)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	入院手術日(再診) ※急患は2週間前 ください。	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (再診のみ)	③:第2・第3・第4週 ④:第1・3週(火)長澤 昌子 第5週(火) 五十嵐 梨紗 -フォローアップ外来 第4週(火) 二村 真亨 ⑤:第2・4週(火)渡辺 好宏
専門外来 (予約制)	小児科	アレルギー検査③	腎臓外来④	アレルギー(塩谷 裕美)	フォローアップ外来(福山 綾子)	アレルギー(宮沢 啓貴)	
		シナシス(9~4月)	フォローアップ外来(矢竹 曜子)	神経外来⑤	1か月健診(交代医師)		
		感染免疫・アレルギー(小林 慈典)	アレルギー(鈴木 陽一)	予防接種(交代制) 13:30~14:30	1か月健診(矢竹 曜子)	循環器外来(鈴木 陽一)	
	整形外科	内分注⑥(大杉 康司)	アレルギー(鈴木 健)	循環器外来(鈴木 陽一)(月1回)	アレルギー⑦(塩谷 裕美)	アレルギー⑦(塩谷 裕美)	⑧:第4週(月)内分注 大杉 康司 第1・3週(月)内分注 齋藤 祐 ⑨:第2週のみ
		骨格外来⑧	骨格外来⑨	手外科⑩	骨格外来⑩	骨格外来⑩	
	神経内科	スポーツ整形外科⑪	頭痛外来⑫	頭痛外来⑫	頭痛外来⑫	頭痛外来⑫	地域連携室を通して完全予約制 ③第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嚥下外来)
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	
	腎臓内科	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	
	看腹部	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	糖尿病連携バス外来	
	外科	スキンケア外来 ※乳がん検診	スキンケア外来	スキンケア外来	スキンケア外来	スキンケア外来	※乳がん検診、乳腺外科は完全予約制
	心臓血管外科	血管外来(飯島 正樹)				大動脈瘤・ステントグラフト外来(西本 隆子)	
	耳鼻咽喉科					補聴器外来(午後) 睡眠時無呼吸症候群外来(網代 洋一)	
	循環器科						
	精神科	物忘れ外来 助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	初診には紹介状が必要。精神科外来を通して完全予約制
	産婦人科	母乳外来(午後) ▽母親教室	母乳外来(午後)	▽母親教室	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	▽:午後のみ。夫立会教室は第2・4週土曜日、第3週日曜日。
呼吸器内科					アスベスト外来(後藤 秀人)	地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)	
放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	榎多 政治	杉山 正人	9:00~11:00 地域連携室を通して完全予約制	
病理診断科	※	※	※	※	※	※担当医:新野 史 完全予約制(1~2名)、診療日は流動的	

初診 受付: 平日 8:30~10:00  
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30~10:00  
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日  
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

## ◆編集後記◆

今年も、多くの桜が咲きました。桜は一年に一度咲いて僅か10日ほどの間に散ってしましますが、きわめてたくさんの人を魅了し、心を豊かにしてくれます。そして、「本年度もがんばろう」と勇気づけてくれます。花にあまり関心はない私も桜はととても大好きで、満開の桜をみると知らず知らずのうちに立ち止まり、眺めているのは桜のもつ不思議な力に引き寄せられるためだと思えます。当院では、今年も桜とともにたくさんの仲間を迎えました。本年度はこの仲間とともに一年がんばります。よろしくお願ひ致します。(T. M)